

「はだしのゲン」原画展開催中

2012年に死去した漫画家の中沢啓治さんが自身の被爆体験を基にした漫画「はだしのゲン」

2012年に死去した漫画家の中沢啓治さんが自身の被爆体験を基にした漫画「はだしのゲン」の原画展がこのほど、広島市の広島平和記念資料館で始まりまし。連載開始40年に合わせたイベントで、初日は二人三脚



漫画家中沢啓治さんの「はだしのゲン」原画展を訪れた妻ミサヨさん。19日午前、広島市の広島平和記念資料館

で漫画を描いた妻ミサヨさん(70)が招待されまし。展示されるのは、中沢さんから同館に寄贈された漫画や絵本の原画66点をはじめ、未発表の「はだしのゲン」第二部の下書きなど。原爆投下時を

「むごさくみ取って」作者の妻

中心に、30分の漫画をA2判に拡大したパネル15枚も飾られます。

会場を巡ったミサヨさんは「一緒に描いてたなあと、懐かしいです。漫画だから表現できる原爆のむごさをくみ取ってもりたい」と語りまし。

副題「生きて生きて生きぬいて」は、原爆で亡くなった父親に向けてゲンが叫んだせりふから取りまし。担当者は「作品の根底にある、力強く生きる勇気を感じてもらえれば」と話していま。

東館地下1階展示室で9月1日まで。開館は午前8時半〜午後6時で閉館日なし。入場料は無料。